

観光振興(2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)プロモーション)

アナ： 「市長が語る2025三島」第3回の今日は、「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)プロモーション」についてお話を伺います。

豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしくお願ひいたします。

アナ： さて、今月13日の日曜日に「大阪・関西万博」が開幕しました。テレビや新聞で、毎日のように目にしますが、あらためて「大阪・関西万博」とはこういった催し物なのか教えていただけますでしょうか。

市長： はい。

「大阪・関西万博」は、外国人観光客350万人を含む2,820万人の来場者が見込まれる、コロナ禍後では世界最大のイベントです。

世界中からたくさんの人やモノが集まるだけでなく、地球規模のさまざまな課題に取り組むための英知が結集する場ともなっております。

そして、この万博の開催の目的ですが、日本の成長を加速させ、世界から注目を集めるとともに、SDGsの達成やSociety 5.0の実現を目指すこととなっております。

アナ： なるほど。

その万博の会期中に三島市は、「LOCAL JAPAN 展」といわれるイベントに出展されるとお聞きしました。

「LOCAL JAPAN 展」とはどういったイベントなのでしょう。

市長： はい。

LOCAL JAPAN 展は、7月28日から7月31日までの4日間、地域に溢れる「日本の奥深さ」を五感で楽しみ、味わっていただく体験型のイベントです。

東北から沖縄まで、全国から集結した43の地域が、地域や文化、世代をこえてコラボレーションし、世界に誇る現代の最先端技術をはじめ、伝統文化、音楽、食、健康、自然などをテーマに、新たな気づきや感動をお届けすることとなっております。

その中で三島市は、国内外から多くの方が来場されるこの機会をチャンスと捉え、地域ならではの魅力を日本国内にとどまらず、世界中に発信していきたいと考えております。

アナ： とても大きなチャンスですね。

具体的には、どのような出展をされるのでしょうか。

市長： はい。

「大阪・関西万博」の屋内展示会場内に設けられるブースに、

「古き良き、江戸時代へのタイムスリップ」というテーマで、三島市、箱根町、大阪府の枚方市、和泉市の3市1町で連携して、江戸時代の東海道「箱根八里」などに関連した宿場や街道をイメージした展示を行います。加えて、

「大阪・関西万博」の来場者に三島市をPRすることで、外国人観光客などの三島市への誘客につなげていくことを考えております。

アナ： 一人でも多くの方に三島市を訪れてもらえるようになると良いですね。
最後にお聞きの皆様へメッセージをお願いします。

市長： はい。

先ほどお話いたしましたように、「大阪・関西万博」は、世界中からたくさんの人やモノが集まるイベントですし、万博でしか見られない、最先端の科学技術などが展示されますので、ぜひ注目していただきたいと思います。

そして、会場まで距離はありますが、機会がございましたら「大阪・関西万博」の会場に足を運んでいただけますと幸いです。

アナ： 私も「大阪・関西万博」に行きたくなりました。
豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。